自然の中の美術博物館

とんぼ玉美術館の外観と、トンボ玉

17年前にできたハローワーク安曇野とんぼ玉美術館は子供が1日遊べるような森の小さな遊園地を目指しながら年間多くの観光客に利用されている。

トンボ玉というのは約3千年前のエジプトのガラスの装飾品がシルクロードなどを経て日本に来たものであってヤサカニ（霊魂）の意味を持つ「玉」と相まって、生命力の神呪であり、天神としての太陽をあらわしていたと考えられている。トンボ玉は日本だけの呼び名で欧米ではグラスビーズと呼ばれている。

美術館には約5千から6千展のトンボ玉が展示してあり世界にあまりない貴重な資料だという。展示しているトンボ玉のなかには今では作ることができないトンボ玉がある。

美術館以外にも行っていることがあり、年に4回行っているフリーマーケットでは1千2百人もの会員さんが店を開いてる。他には去年初めてやったクラシックカーの展示やこいのぼりを揚げている。こいのぼりは全国から集め目標を千匹とし毎年4月から6月まで多くのこいのぼりを揚げている。

トンボ玉美術館ではトンボ玉を見るだけではなく世界に1つだけの自分のトンボ玉を作ることができる。（作るときにはトンボ玉作りを教えてくださる人がいて丁寧で安全に教えていただくことができる。そのおかげで今までに怪我をした人が1人もいない。）

自分たちも実際にトンボ玉作りを体験してみて、今まで一度も作ったことがなかったけれども作る時には教えてくれる人がいてくれてトンボ玉の説明や作るときに気を付けることなどをやさしく丁寧に教えていただくことができた。作る前はとても緊張していたけれども丁寧につくりかたを教えていただけたので慌てずに作ることができてとてもいいトンボ玉をつくることができた。

とんぼ玉美術博物館内の内装と展示

作業時間は5分ほどで40分ほどはトンボ玉を冷すので待つけれどもその間はとんぼ玉美術館のなかで十分待てる。トンボ玉を作ることはいい記念になると思う。

とんぼ玉美術館では年間に多くの行事をおこなっており、毎年びっくりするような企画を考えている。

美術館の支配人の柴さんは「今は観光客がメインだけれどこれからは観光客だけではなくてトンボ玉を見たいという村などの地元の人々に来てもらいたい」と願っている。

絶景！写真スポット

自然豊かなこの村には絶景が楽しめる場所がたくさんある。村民のみぞ知る隠れた絶景スポットや観光客に人気の絶景スポット。その中でも特におすすめなのが、桜沢遺跡の紅葉、川西の一本松、鈿女神社の心清橋。

桜沢遺跡の紅葉は、秋だけではなく一年中絶景を楽しめる。川西の一本松は、その大きさに思わず声をあげてしまう。鈿女神社の心清橋は、満開の桜と風情ある橋とがあなたの目を癒してくれる。

松川の絶景写真がとれる場所

鈿女神社の心清橋・・・①

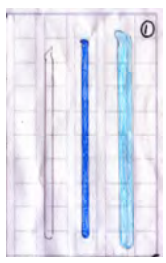
橋には珍しい階段があり、村の文化財にも指定されています。
春になると桜が咲き、普段の橋とは違った風景が楽しめる。

松川村の主要な行事

1月	元旦マラソン すずの音ふれあいコンサート
2月	分館対抗ニュースポーツ大会
3月	花のじゅうたん祭り
6月	分館対抗球技大会
7月	有明山登山
8月	ふるさと祭り 高瀬川納涼花火大会
9月	（大北縦断駅伝）
10月	収穫祭 村文化祭 図書館祭り
11月	10月後半から11月にかけて 新そば祭り

トンボ玉の作り方（マーブル模様）

①自分の好きな色のガラス棒を太いのを1本、細いのを2本選ぶ。

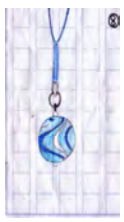


②太いガラス棒を火の上で少しずつ加熱していく。

③細い棒に溶けた太いガラス棒を付けながら回す。

④細いガラス棒を火の上で少しずつ加熱する。

⑤③で細い棒に付けたガラスの塊に溶けた細いガラス棒を付ける。

⑥もう1本の細いガラス棒も④⑤と同じような作業をする。

⑦灰に入れてゆっくり冷やして完成。